

2-3. 各学科専門科目履修時の注意事項

(1) 法学入門・法学入門演習

法律学科1年生を対象として、「法学入門」と「法学入門演習」が開講されています。いずれも2単位の専門選択科目で春学期授業です。

- ・「法学入門」、はクラスにより受講できる曜日・時限が指定されています。法学部専門科目時間割を参照し、指定クラスの授業に出席してください。
- ・「法学入門演習」は受講者選抜を行います。別紙「法学入門演習の受講について」の指示に従ってください。

(2) 法律学特講

この科目は大学の学則の上ではひとしく「法律学特講」と称し、ある分野に経験の深い実務家による講義や、重要事項・新しい法領域などについての専門家による深く掘り下げた講義が複数開講されます。

法律学特講は、2科目以上履修することも可能です。(ただしカッコ書きの部分が同じものを2科目以上履修することはできません)。科目の詳細については、専門科目一覧で確認してください。

(3) 政治学入門演習

政治学科1年生を対象とした選択科目です。大学生としての基本的な能力を身に付け、政治学とはどのような学問なのかイメージを明確にすることを目標としています。

1クラス24人程度の少人数で授業を実施します。受講希望者は別紙「政治学入門演習の受講について」に従ってください。

(4) 総合科目の中の政治学科選択科目(政治学科選択科目となる総合科目)

政治学科選択科目名		総合科目名	単位	受講年次	定員
法文化史Ⅰ/Ⅱ	←	法哲学A/B	各2	2～4	25
福祉社会論Ⅰ/Ⅱ	←	福祉社会論A/B (Aは2020年度休講)	各2	2～4	30
政治地理学Ⅰ/Ⅱ	←	人文地理学セミナーA/B	各2	2～4	30
エスニシティ論Ⅰ/Ⅱ	←	文化人類学方法論A/B	各2	2～4	30
グローバル経済論Ⅰ/Ⅱ	←	教養ゼミⅠ/Ⅱ(ゼロ金利と米中新冷戦/グローバル化と資本主義の課題)	各2	2～4	20
政治思想Ⅰ/Ⅱ	←	教養ゼミⅠ/Ⅱ(政治思想史古典精読:アメリカの独立を考える/政治思想史古典精読:ジェファソンの憲法思想を考える)	各2	2～4	20

科目名は2017年度以降入学者生の名称です。2016年度以前入学者はP93の総合科目新旧対応表で科目名を確認してください。

政治学科生は「専門選択科目」としてのみ履修できます。総合科目としては履修できません。従って総合科目一覧表の上で連続・重複履修が可能となっても、これには該当しません。注意してください。

法律学科生・国際政治学科生は「総合科目」としてのみ履修できます。市ヶ谷基礎科目・総合科目講義概要(シラバス)を参照してください。

なお、授業に関する連絡事項は法政ポータルサイト(Hoppi)内Web掲示板に掲示されます。

(5) 経営学部との合併科目(政治学科選択科目)

公開科目に同一科目がある場合、政治学科生は経営学部との合併科目のみ登録可能です。

経営学部との合併科目	単位	受講年次
経営管理論 I / II	各2	3・4
基礎統計学 I / II	各2	2～4
日本経営論 I / II	各2	3・4
消費者行動論 I / II	各2	3・4
国際経営論 I / II	各2	3・4
国際金融論 I / II	各2	3・4

政治学科生のみ「専門選択科目」として履修することができます。法律学科生・国際政治学科生は履修できません。なお、授業に関する連絡事項は経営学部掲示板に掲示されます。

(6) STEP

STEPは、クラス分けを行います。ただし、HOPの修得状況等により受講クラスを自由に決定できる場合もあります。

(7) 実践講座科目(2年生以上)

① Essay Writing、Presentation Skills、Debate

各クラスとも定員があり、事前登録による受講クラスの指定を行います。また、これらの科目は重複履修(同年度に同一名称の科目を複数履修すること)も連続履修(2年次・3年次・4年次と同一名称の科目を連続して履修すること)もできません。

※この科目は、国際政治学科生のみ履修できます。

② 海外メディア分析実習(2～4年生)

各クラスとも定員があり、事前登録によるクラスの指定を行います。海外メディア分析実習は連続履修(2年次、3年次、4年次と同じ科目を連続して履修することが可能です。また、重複履修(同年度に複数の授業を履修することも可能です。ただし、同一教員が担当する授業、連続履修も重複履修もできません。

(例1) 2年次にA教授、3年次にB教授を履修できる。

(例2) 3年次春学期にA教授、3年次秋学期にB教授を履修することができる。

※この科目は、国際政治学科生のみ履修できます。

③ 文章の書き方セミナー(2・3年生)

春学期と秋学期に同一内容で開講しますが、各クラスとも定員があり、受講許可および履修期は春学期第1回の授業で決定しますので、受講希望者は必ず出席してください。また、重複履修(同年度に複数の授業を履修すること)も連続履修(2年次・3年次・4年次と連続して履修することも)できません。

※この科目は、法律学科生は履修できません。

④ 大学院科目のうち、実践講座科目の扱いとなる科目について

2020年度は以下の科目が対象です。「開発援助運営論:JICA講座」は、定員があり事前登録による受講許可を得ることが必要です。「グローバル政治経済特別セミナー」は、別登録はありません。いずれの科目も履修登録期間中に各自で履修登録をおこなってください。なお、授業に関する連絡事項は大学院棟掲示板に掲示されます。

授業コード	科目名	単位	受講年次	開講期・時間割
X5555	グローバル政治経済特別セミナー	2	2～4	秋学期集中 (2/5～2/10) 予定
X5556	開発援助運営論:JICA講座	2	2～4	秋学期・水曜6時限

(8)外国書講読

受講を希望するものは、講義に出席して担当教員の許可を受けてから、履修登録してください。なお、外国書講読は連続履修(2年次・3年次・4年次と同じ科目を連続して履修すること)が可能です。また、重複履修(同時に複数の科目を履修すること)も可能です。

(例1)3年次に外国書講読(独語) I / II (A教授)、4年次に外国書講読(独語) I / II (A教授)が履修可

(例2)3年次で外国書講読(英語) I / II、外国書講読(独語)の両方が履修可

(例3)4年次で外国書講読(英語) I / II (A教授)、外国書講読(英語) I / II (B教授)の両方を履修可

2020年度の開講科目は下記の通りです。

外国書講読 一覧

科目名	担当者	単位	受講年次	履修期
外国書講読(英語) I / II	CHRISTOPHER C MOSLEY	各2単位	2～4	春学期/秋学期
	田中 佐代子	各2単位	2～4	春学期/秋学期
	氏家 裕順	各2単位	2～4	春学期/秋学期
	杉田 敦	各2単位	2～4	春学期/秋学期
外国書講読(独語) I / II	大野 達司	各2単位	2～4	春学期/秋学期
	内田 俊一	各2単位	2～4	春学期/秋学期
	細井 保	各2単位	2～4	春学期/秋学期
外国書講読(仏語) I / II	近江屋 志穂	各2単位	2～4	春学期/秋学期
外国書講読(朝鮮語) I / II	崔 先鎬	各2単位	2～4	春学期/秋学期
外国書講読(中国語) I / II	黄 偉修	各2単位	2～4	春学期/秋学期

(9) 卒業論文・リサーチペーパーについて

4年次生は卒業論文またはリサーチペーパーを履修することができます。但しこの二つをともに履修することはできません。詳細は以下の通りです。なお、通常履修の場合と演習の必修単位を代替するための履修の場合とは、手続きが異なりますので、注意してください。

卒業論文の分量は、400字詰め原稿用紙に換算して100枚程度とし、単位数は8単位です。論文指導及び審査は、政治学科又は国際政治学科の専任教員が当たり、必要に応じて面接を行います。必要な場合には演習指導教員や学科主任の教員とよく相談してから指導担当教員を決め、履修申請を行ってください。

リサーチペーパーは、「Global Internship」「公共政策フィールドワーク」を履修するか、又は指導と審査にあたる教員の指導の下にフィールド調査ないしインターンシップを行なうことを条件に履修できます。分量は、400字詰め原稿用紙に換算して50枚以上とし、単位数は8単位です。指導及び審査は、原則として演習指導教員、「Global Internship」「公共政策フィールドワーク」担当教員又は学科主任があたり、必要に応じて面接を行いません。履修希望者はこれらの教員とよく相談してから指導担当教員を決め、履修申請を行ってください。

なお、提出に当たっての表紙は、卒業論文用のものを使用し、リサーチペーパーであることを明示する記載を適宜行なってください。

指導願の提出

卒業論文・リサーチペーパーの履修希望者は所定の「指導願」に必要事項を記入の上、指導教授の受諾印を得て、履修登録期間内に法学部窓口へ提出してください。その後、事務が履修登録を行います。

提出日: 2021年1月8日(金) 法学部窓口へ。受付時間午後1時～4時 ※提出日時は厳守

提出形式: 大学指定の表紙(A4版・水色・左綴じ・横書き用)を生協文具売場で購入し、その表紙を必ず付けた上で提出してください。

(10) 総合科目

基礎科目で修得した基本的な知識をさらに展開させて、本来のリベラルアーツを充実させる意味で開講する専門教育科目です。法学部では自由科目となります。配置された多様な科目を分類すると、つぎのようになります。

- ① ILAC/基礎科目1群から3群の科目に関連がある特定のテーマを講義する科目、情報処理関連の科目、または各群に共通した学際的な科目
- ② 英語では、Native Speaker の指導の下に高度の運用力を育成したり、生の英語の資料を基にした輪読と討論を行うグレードの高い科目
- ③ 諸外国語では、読解や運用能力を中級から上級に高めたり、資格取得を目指す科目
- ④ 第三の外国語として、諸外国語を初級から修得する科目
- ⑤ 留学生を対象とした日本事情、日本人学生も参加できる日本語特別講座のような日本語関連科目
- ⑥ 体育理論の講義だけでなく、実技、演習を組み合わせた科目

【履修上の注意】

- ・ 科目によっては受講者の選抜を行ったり、所属学科や、履修している諸外国語等により受講者の制限を行う場合があります。詳細については「市ヶ谷基礎科目・総合科目 講義概要(シラバス)」を参照し、初回授業時に担当教員の指示に従ってください。
- ・ この科目は自由科目の単位として卒業までに20単位の範囲で履修できますが、いかなる場合でも基礎科目(1～5群)の単位として履修することはできません。
- ・ 総合科目の授業に関する連絡事項は、法政ポータルサイト(Hoppii)内WEB掲示板にのみ掲示されます。

(11) 法律学科 法曹コースに所属する学生の履修について

・専門科目について

法曹コースに所属する学生は、下記の(表1)に記載されている法律学科の専門科目を必修科目として修得する必要があります(P49-50 参照)。それ以外の専門科目(必修科目に該当していない選択必修科目を含む)およびILAC科目については、一般の法律学科の学生と同じように単位を修得する必要があります。また、法曹コースに所属する学生は、(表2)の通り1年間に修得することができる単位数の上限が、一般の法学部生と異なります(P15-16 参照)。

(表1) 法曹コース履修科目(学年は各科目の配当年次)

学年	学期	必修科目		学年	学期	必修科目		学年	学期	必修科目	
		科目名	単位数			科目名	単位数			科目名	単位数
1年	春学期	憲法Ⅰ	2	2年	春学期	行政法入門Ⅰ	2	3年	春学期	刑法各論Ⅱ	2
		契約法Ⅰ	2			総合統治機構(法曹コース)	2			民事訴訟法Ⅰ	2
	秋学期	憲法Ⅱ	2			契約法Ⅱ	2			家族法(法曹コース)	2
		民事法総論	2			契約法(法曹コース)	2			法曹コース演習Ⅱ	2
		不法行為法	2			物権法	2			法曹コース演習Ⅲ	2
		刑法総論Ⅰ	2		秋学期	行政法入門Ⅱ	2		民事訴訟法Ⅱ	2	
	2年	秋学期	債権回収法Ⅰ			2	法曹コース演習Ⅳ		2		
			債権回収法Ⅱ			2	通年		会社法	4	
			刑法各論Ⅰ			2			合計	52	
			刑事訴訟法(法曹コース)			2					
法曹コース演習Ⅰ			2								

(表2) 法曹コースに所属する学生の履修・修得単位数の上限

学年	一般の法学部生(留級生は除く)		法曹コース	
	履修上限	修得上限	履修上限	修得上限
2年	48単位	42単位	48単位	48単位
3年	48単位	44単位	48単位	48単位

※1 (表1)の「学年」は、各科目を履修する学年の目安となっております。時間割の都合上、すべての科目を履修するために、各科目については(表1)に記載の学年で履修することを強くお勧めいたします。なお、法曹コースの必修科目をすべて修得しても、法律学科の卒業要件となっている選択必修科目をすべて修得したことにはなりません。

※2 (表1)の必修科目以外にも下記科目の履修も推奨されます。

- ・憲法科目:憲法Ⅳ
- ・行政法科目:行政作用法Ⅰ・Ⅱ、行政救済法Ⅰ・Ⅱ
- ・民事訴訟法科目:民事手続法入門

※3 法曹コースに所属する学生は、(表3)に記載の法曹コース科目(法曹コースに所属する学生のみが履修できる法律学科の専門科目)を履修する代わりに、対応する法律学科の専門科目を履修することはできません(学習内容に重複があるため)。

(表3) 法曹コース専用科目と対応する法律学科専門科目

法曹コース科目(法曹コースの学生のみ履修可)		法律学科専門科目(法曹コースの学生は履修不可)	
科目名	単位数	科目名	単位数
総合統治機構(法曹コース)	2	憲法Ⅲ	2
契約法(法曹コース)	2	契約法Ⅲ・Ⅳ	2+2
刑事訴訟法(法曹コース)	2	刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ	2+2

総合科目一覧

科目名	単位	学年	定員	備考
人文科学系				
漢字・漢文学A/B	各2	2～4年	30	日本文学科除く
文芸創作講座A/B	各2	2～4年	定員制	日本文学科除く
日本芸能論A/B	各2	2～4年	40	日本文学科除く
身体表現論A/B	各2	2～4年	30	
美術論A/B	各2	2～4年	30	
芸術と人間A/B	各2	2～4年	50	
仏教思想論A/B	各2	2～4年	—	哲学科除く
行為の理論A/B	各2	2～4年	—	哲学科除く
中国の民族と文化A/B	各2	2～4年	30	史学科除く
ギリシャの文化と社会A/B	各2	2～4年	30	英文学科・史学科除く 2020年度休講
古代日本・中国の法と社会A/B	各2	2～4年	30	史学科除く
アジア・太平洋島嶼国際関係史A/B	各2	2～4年	30	
クィア・スタディーズA/B	各2	2～4年	—	
キリスト教思想史A/B	各2	2～4年	30	哲学科・英文学科除く
異文化コミュニケーション論A/B	各2	2～4年	30	英文学科除く
社会科学系				
法哲学A/B	各2	2～4年	25	政治学科・哲学科除く
福祉社会論A/B	各2	2～4年	30	政治学科除く 2020年度「福祉社会論A」は休講
人文地理学セミナーA/B	各2	2～4年	30	政治学科・地理学科除く
文化人類学方法論A/B	各2	2～4年	30	政治学科・地理学科除く
人間行動学A/B	各2	2～4年	30	
沖縄を考えるA/B	各2	2～4年	—	
グローバル社会の地域研究A/B	各2	2～4年	定員制	2019年度で閉講
自然科学系				
自然環境のしくみとその変貌A/B	各2	2～4年	40	地理学科除く
数理論理学A/B	各2	2～4年	30	哲学科・英文学科除く 2020年度休講
計算と言語のしくみ	2	2～4年	30	英文学科除く
コンピュータと数理の活用	2	2～4年	30	英文学科除く
確率の世界A/B	各2	2～4年	—	英文学科除く
集合論A/B	各2	2～4年	30	哲学科・英文学科除く
相対性理論と宇宙A/B	各2	2～4年	—	
現代の錬金術A/B	各2	2～4年	—	
原子核と素粒子A/B	各2	2～4年	—	
ボルボックス生物論A/B	各2	2～4年	60	2020年度新規開講
生物哲学	2	2～4年	40	2019年度で閉講
生命情報科学	2	2～4年	40	2019年度で閉講
イオンの科学A/B	各2	2～4年	30	
光と色の科学A/B	各2	2～4年	30	
物質の科学A/B	各2	2～4年	30	
ITリテラシー	2	2～4年	35	
コンピュータ科学	2	2～4年	35	
現代科学の新しい目A/B	各2	2～4年	30	2020年度休講
エネルギーを考えるA/B	各2	2～4年	60	2019年度で閉講
人間と地球環境	2	2～4年	30	地理学科除く
Human Impact on the Global Environment	2	2～4年	30	

学生証番号の頭2桁が「17」以降の方

科目名	単位	学年	定員	備考
言語系				
第三外国語としてのドイツ語A/B	各2	2～4年	40	哲学科除く 4群ドイツ語履修者は履修不可
ドイツ語コミュニケーション中級A/B	各2	2～4年	20	
留学ドイツ語A/B	各2	2～4年	30	
ドイツの思想A/B	各2	2～4年	30	哲学科・英文学科除く
ドイツ語圏の文学A/B	各2	2～4年	30	英文学科除く
ドイツ語圏の芸術A/B	各2	2～4年	30	英文学科除く
比較文化A/B	各2	2～4年	30	哲学科除く
第三外国語としてのフランス語A/B	各2	2～4年	40	哲学科除く 4群フランス語履修者は履修不可
上級フランス語A/B	各2	2～4年	40	2020年度休講
フランス語コミュニケーション(中・上級)A/B	各2	2～4年	20	
検定フランス語(中・上級)A/B	各2	2～4年	30	2020年度休講
フランス語表現法A/B	各2	2～4年	30	2020年度休講
フランス語講読A/B	各2	2～4年	30	
第三外国語としてのロシア語A/B	各2	2～4年	30	4群ロシア語履修者は履修不可
第三外国語としてのロシア語中級A/B	各2	2～4年	30	
実用ロシア語A/B	各2	2～4年	20	
ロシア語講読A/B	各2	2～4年	30	
時事ロシア語A/B	各2	2～4年	30	
第三外国語としての中国語A/B	各2	2～4年	40	4群中国語履修者は履修不可
第三外国語としての中国語中級A/B	各2	2～4年	30	2020年度休講
中国語視聴覚中級A/B	各2	2～4年	25	2020年度休講
中国語コミュニケーション中級A/B	各2	2～4年	30	
中国語講読A/B	各2	2～4年	30	2020年度休講
中国語講読中級A/B	各2	2～4年	30	2020年度休講
中国語作文中級A/B	各2	2～4年	30	2020年度休講
資格中国語中級A/B	各2	2～4年	30	
資格中国語上級A/B	各2	2～4年	30	
中国語翻訳・通訳A/B	各2	2～4年	30	
中国語翻訳・通訳C/D	各2	2～4年	30	
第三外国語としてのスペイン語A/B	各2	2～4年	40	4群スペイン語履修者は履修不可
第三外国語としてのスペイン語中級A/B	各2	2～4年	40	2020年度休講
スペイン語上級A/B	各2	2～4年	40	
スペイン語コミュニケーション中級A/B	各2	2～4年	30	
スペイン語講読A/B	各2	2～4年	30	2019年度新規科目
第三外国語としての朝鮮語A/B	各2	2～4年	30	4群朝鮮語履修者は履修不可
第三外国語としての朝鮮語中級	2	2～4年	30	4群朝鮮語履修者は履修不可
日本語コミュニケーションA/B	各2	2～4年	30	
健康・スポーツ科学系				
スポーツ科学A/B	各2	2～4年	20～30	同じ種目の連続履修は不可
系共通				
教養ゼミ I / II (文芸創作の実践A/B)	各2	2～4年	30	日本文学科除く 2020年度休講
教養ゼミ I / II (思想と文学)	各2	2～4年	20	2019年度新規科目
教養ゼミ I / II (愛の労働-「ケアの倫理」の行方(1)/「共依存」の倫理-「ケアの」倫理の行方(2))	各2	2～4年	30	
教養ゼミ I / II (在日朝鮮人の歴史A/B)	各2	2～4年	30	
教養ゼミ I / II (アラビア語入門)	各2	2～4年	30	
教養ゼミ I / II (アフロアジア入門-映像で見るアフロアジア世界-)	各2	2～4年	30	
教養ゼミ I / II (USAにおける抵抗の思想/宗教、ナショナリズム、国家)	各2	2～4年	25	
教養ゼミ I / II (ゼロ金利と米中新冷戦/グローバリゼーションと資本主義の課題)	各2	2～4年	20	政治学科除く
教養ゼミ I / II (政治思想史古典精読：アメリカの独立を考える/政治思想史古典精読：ジェファソンの憲法思想を考える)	各2	2～4年	20	政治学科除く 2019年度新規科目
教養ゼミ I / II (心理的ウェルビーイングを考えるA/B)	各2	2～4年	30	2020年度休講
教養ゼミ I / II (現代社会の人権問題A/B)	各2	2～4年	30	2020年度新規開講
教養ゼミ I / II (自然史～沖縄本島北部ヤンバル地域の自然と文化～)	各2	2～4年	20	
教養ゼミ I / II (生き物研究会)	各2	2～4年	30	
教養ゼミ I / II (持続可能社会のための化学)	各2	2～4年	30	2020年度新規開講
教養ゼミ I / II (Issues in Modern Japanese Society I / II)	各2	2～4年	20	2020年度休講
教養ゼミ I / II (独仏文化論)	各2	2～4年	30	英文学科除く
教養ゼミ I / II (移民社会とポピュリズム)	各2	2～4年	15	
教養ゼミ I / II (フランス語圏文化への招待/フランスの現代社会)	各2	2～4年	15	
教養ゼミ I / II (中国の食文化)	各2	2～4年	15	
教養ゼミ I / II (スペインの歴史)	各2	2～4年	20	
教養ゼミ I / II (トレーニングを科学する(Basic course)/(Advanced course))	各2	2～4年	20	
教養ゼミ I / II (脱運動不足と健康づくり (ベーシックコース) / (アドバンスコース))	各2	2～4年	20	
教養ゼミ I / II (身体活動による心身の変化と健康(1)/(2))	各2	2～4年	20	2020年度新規開講

※備考に○○学科除くとある場合には、○○学科の学生は、該当の総合科目を、専門科目として履修します(総合科目としては履修しません)。
 ※「教養ゼミ I / II」は、授業ごとにテーマを設けて、ゼミナール形式で授業を行います。()内はサブタイトルで、授業内容を示します。
 ※2018年度をもって政治思想A/Bは開講しました。

(12)電算実習科目

【履修上の注意事項】

- ① 受講者数に制限があるので、科目登録の前に受講申込の応募が必要です。
- ② 情報実習室(電算実習室)はボアソナードタワーにA(7階)、B(6階)、C(5階)、D(4階)、E(4階)、F(4階)、H(4階)の8つがあります。また、富士見坂校舎2階には、情報カフェテリア(自習用カフェテリア)があります。
- ③ 授業に関する連絡事項は、経営学部掲示板に掲示されます。詳細は「電算実習科目の履修方法について」を参照してください。

各科目、どれか1つのコースを選択し、履修します。修得した単位は自由科目となります。

※国際政治学科生について、2019年度より一部の科目の受講可能年次が2年次から1年次に変更になりました。

<2019年度以降入学者>

科目名(担当者は電算時間割を参照)	単位	受講年次
情報学入門Ⅰ/Ⅱ(表計算)	各2	1～4
情報学入門Ⅰ/Ⅱ(データ演習)	各2	1～4
情報学入門Ⅰ/Ⅱ(データベース)	各2	1～4
情報学入門Ⅰ/Ⅱ(空間情報処理)	各2	1～4
情報学入門Ⅰ/Ⅱ(メディア情報処理)	各2	1～4
情報学入門Ⅰ/Ⅱ(言語データ処理)	各2	1～4
プログラミング言語Ⅰ/Ⅱ(C言語)	各2	1～4
プログラミング言語Ⅰ/Ⅱ(JAVA)	各2	1～4
プログラミング言語Ⅰ/Ⅱ(VBA)	各2	1～4
プログラミング言語Ⅰ/Ⅱ(スクリプト言語)	各2	1～4
情報学応用Ⅰ/Ⅱ(データベース)	各2	2～4
情報学応用Ⅰ/Ⅱ(データ可視化)	各2	2～4
情報学応用Ⅰ/Ⅱ(プレゼンテーション)	各2	2～4
情報学応用Ⅰ/Ⅱ(空間情報)	各2	2～4
情報学発展Ⅰ/Ⅱ(ホームページ)	各2	2～4
情報学発展Ⅰ/Ⅱ(情報通信ネットワーク)	各2	2～4
情報学発展Ⅰ/Ⅱ(システム科学)	各2	2～4
応用プログラミングⅠ/Ⅱ(統計分析)	各2	3～4
応用プログラミングⅠ/Ⅱ(統計)	各2	3～4

<2016～2018 年度以降入学者>

科目名(担当者は電算時間割を参照)		単位	受講年次
2016～2017 年度入学者	2018 年度入学者		
情報科学実習 I / II ※a コース、b コース、d コース、 f コースの 4 つのコースがありま す	情報科学実習 I / II (a コース)	各2	1・2
	情報科学実習 I / II (b コース)	各2	1・2
	情報科学実習 I / II (d コース)	各2	1・2
	情報科学実習 I / II (f コース)	各2	1・2
プログラミング言語 I / II ※C 言語コース、JAVA コース、 OBOL コース、BASIC コースの 4 つのコースがあります	プログラミング言語 I / II (C 言語コース)	各2	1～4
	プログラミング言語 I / II (JAVA コース)	各2	1～4
	プログラミング言語 I / II (COBOL コース)	各2	1～4
	プログラミング言語 I / II (BASIC コース)	各2	1～4
データ処理論 I / II ※データベース・コース、 コンピューター・グラフィックス・コ ース、 プレゼンテーション・コース、 空間情報システム・コース、 情報検索コースの 5 つの コースがあります	データ処理論 I / II (データベース・コース)	各2	2～4
	データ処理論 I / II (コンピューター・グラフィックス・コース)	各2	2～4
	データ処理論 I / II (プレゼンテーション・コース)	各2	2～4
	データ処理論 I / II (空間情報システム・コース)	各2	2～4
	データ処理論 I / II (情報検索コース)	各2	2～4
ネットワーク論 I / II ※通信ネットワーク・コース、 ホームページ・コースの 2 つのコースがあります	ネットワーク論 I / II (通信ネットワーク・コース)	各2	2～4
	ネットワーク論 I / II (ホームページ・コース)	各2	2～4
応用プログラミング I / II ※計量分析コース、統計 コースの 2 つの コースがあります	応用プログラミング I / II (計量分析コース)	各2	3～4
	応用プログラミング I / II (統計コース)	各2	3～4

<2015 年度以前入学者>

科目名(担当者は電算時間割を参照)	単位	受講年次
情報科学実習 I・II (通年科目) ※a コース、b コース、d コース、f コースの 4 つのコースがあります	4	1・2
プログラミング言語 I・II (通年科目) ※C 言語コース、JAVA コース、COBOL コース、BASIC コースの 4 つのコースが あります	4	1・2
データ処理論 I・II (通年科目) ※データベース・コース、コンピューター・グラフィックス・コース、プレゼンテーショ ン・コース、 空間情報システム・コース、情報検索コースの 5 つのコースがあります	4	1～4
ネットワーク論 I・II (通年科目) ※通信ネットワーク・コース、ホームページ・コースの 2 つのコースがあります	4	1～4
応用プログラミング I・II (通年科目) ※計量分析コース、統計コースの 2 つのコースがあります	4	1～4

(13)公開科目

他学部の講義科目を卒業までに16単位の範囲で履修できる制度です。

①履修年次

2～4年次生、かつ当該科目につき主催学部における配当年次以上の場合に履修できます。

②登録単位の上限と単位の扱い

公開科目の修得単位は、卒業所要単位(自由科目)として16単位まで算入されます。履修登録時には他の専門教育科目と同様に年間履修の上限単位数に含まれます。

③履修登録方法

他の専門教育科目と同じように登録してください。

④時間割

公開科目の時間割・試験時間割・休講等は、当該学部のWEB掲示板等で周知されます。

(14)グローバル・オープン科目

法政大学が2016年度から全学で開講するグローバル・オープン科目は、学部横断型の科目群です。英語で他学部の専門領域を学びたい学生、将来グローバル企業や国際機関で活躍を希望している学生の皆さんは、積極的に履修してください。

詳細は、グローバル・オープン科目の時間割と講義概要(シラバス)を参照してください。

(15)ESOP(交換留学生受入れプログラム)

グローバル教育センター主催のESOP(交換留学生受入れプログラム＝英語によって行われる授業)を受講した場合、卒業所要単位への認定が可能です。履修手続きについては、以下を参照してください。

なお、プログラムの詳細については、グローバル教育センターにて配布される募集案内を確認してください。

①履修年次

1年～4年次(国際政治学科は2年～4年次)

②登録単位の上限と単位の扱い

ESOPの修得単位は、卒業所要単位(自由科目)として1年間に4単位まで算入されます。履修登録単位は、年間履修の上限単位数に含まれます。

③履修登録

グローバル教育センターにて受講許可を受けた後、窓口まで申請用紙を提出してください。法学部窓口で履修登録します。

(16)ERP(英語強化プログラム)

グローバル教育センター主催のERP(英語強化プログラム＝ネイティブスピーカーを中心とした講師による英語スキル養成プログラム)を受講した場合、卒業所要単位への認定が可能です。履修手続きについては、以下を参照してください。

なお、プログラムの詳細については、グローバル教育センターにて配布される募集案内を確認してください。

①履修年次

法律学科生1～4年、政治学科生3～4年、国際政治学科生1～4年

②登録単位の上限と単位の扱い

ERPの修得単位は、卒業所要単位(自由科目)として1年間に16単位まで算入されます。

履修登録単位は、年間履修の上限単位数に含まれます。

③履修登録

グローバル教育センターにて受講許可を受けた後、窓口まで申請用紙を提出して下さい。法学部窓口で履修登録します。